

明神宗九年十月八日

チリノ北ニテマダカト東ノ

白礬末

在り遠り未知し之の爲すから申盡せしむ

昭和二年十一月一日

中
入籍者多

等 敝元海軍大尉

氏名

奉 勅 池

力 義 新

卷之四

戰鬥第三二飛行隊

飛行隊長

時

一、奉勅書は宛親着の身上南條一切を處理するに於て以

懷素

[illegible]

中世人の知識の事蹟其の也

中末を録自の起入し之个うい

書體瘦勁、多々長今、資料ナリ一寄記録ニ依り右ノ通り

判明し方ありき

65413

65413

養子五郎の人の一九八二

現況不明者消息調査依頼票

一九五五年九月九日

養子五郎の人の人事課

中

元等級大尉

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

本

本

本

本

本

本

本

本

本

本

人

事項

事項

事項

事項

事項

事項

事項

事項

事項

回

死

死

死

死

死

死

死

死

死

欄

死

死

死

死

死

死

死

死

死

欄

死

死

死

死

死

死

死

死

死

欄

死

死

死

死

死

死

死

死

死

（一）戦後各行政官明年月日及び其場所を明確に把握するものなる旨を指示し、
 又、その努力を促すこととした。

（二）調査を確実なものとするため、他人から情報を得る場合、必ずしも正確な情報を得る必要はない。
 （三）本票以外に、戦後公表者も、調査に際しては、必ずしも正確な情報を得る必要はない。
 （四）調査は、戦後公表者も、調査に際しては、必ずしも正確な情報を得る必要はない。

65-414

己丑年九月九日

入籍番號



10

九時頃、カミヤの約ミツ子様と文政、その際

卷之四 吳越王復員周人帝部 履歷 宛 下

69531

現況不明者消息調查依頼票 (三十三) 年十二月七日

其地方復興局人事課履歷A班

申請住所

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

氏名

死後之狀

高麗王素敵攻龜山古不歸還後

廟

[illegible]

飛書

卷之五

待報

庚子年正月

雅

張東野先生集

張一鼓鄉先

等
級
氏
名

注所

得報



職課又主行奉明年月及心基之場所又主地城之明鑑知得失亦求在

場合推定せし結構より努めて託辭を下す

問見を確言せよと云ふ他人の心得を以て己の心得を以てせよと云ふは、
己の心得を以てせよと云ふは、己の心得を以てせよと云ふは、己の心得を以てせよと云ふは、

長本票以外は、戦後公表には、^強方を御存じの方はお知らせ下さい。

美人第五册牛乳一〇七三

吳才慎員司人事部

現況不明尋消息調查依賴示
(一九二一年九月十一日)

[illegible]

整冊號 全220

元海軍軍人現況不明者調書		所轄(群令年月日)	等	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地
二〇一〇 (昭二九七二一〇日)		上飛中	氏名	生年月日	入籍番號	本籍地	縣 市 町 大字 市 町 大字
留守擔當者	父	氏名	現住	縣 市 町 大字	村 大字	所	
既知事項	一、佐世保人事業務課資料 二、世話課(科)資料 三、家族身寄承知事項	一、(イ)遺竹有無(昭二九七二一〇日) (ロ)遺留品有無	一、昭和二十一年八月 二、昭和二十二年八月 三、昭和二十三年八月	一、昭和二十一年八月 二、昭和二十二年八月 三、昭和二十三年八月	一、昭和二十一年八月 二、昭和二十二年八月 三、昭和二十三年八月	一、昭和二十一年八月 二、昭和二十二年八月 三、昭和二十三年八月	一、昭和二十一年八月 二、昭和二十二年八月 三、昭和二十三年八月
情報提供	内地歸還年月日	部	氏名	入籍番號	現住	所	
報告者	昭和年月日	三〇二空	二飛曹				
所屬部隊に關するもの		現況不明者個人に關するもの					
一、編成の時期及び場所(昭二九七二一〇日) 二、内地出撃の時期及び場所(昭二九七二一〇日) 三、進出要領		一、本人とは何處で何時迄一緒にいたか 二、その時の本					

終結處		佐世保人事業務課にて判定		世話員(務)にて判定		世話員	
(公)	(明)	(不)	(生)	25-18			
五、現地に達時刻及び場所(期) 年 月 日 六、終戦時の状況 七、終戦後の状況 八、歸還の状況 九、終戦後の状況 十、終戦後の状況		一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 四、出港地及び年月日 五、寄港地及び年月日 六、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数 七、事故の原因及びその年月日 八、事故発生時の位置及び被害の状況 九、救難の状況		一、本人の状況 二、本人の状況 三、本人の状況 四、本人の状況 五、本人の状況 六、本人の状況 七、本人の状況 八、本人の状況 九、本人の状況 十、本人の状況		一、同部隊名 二、同部隊名 三、同部隊名 四、同部隊名 五、同部隊名 六、同部隊名 七、同部隊名 八、同部隊名 九、同部隊名 十、同部隊名	
佐世保人事業務課にて判定		世話員(務)にて判定		世話員		世話員	

戦死報告書

坂海軍二等兵曹

右 [redacted] 昭和十九年十月二十五日午後五時五十分

馬支海峽洋上、戦中、敵機に撃たれ、死す。死後、

致し、上陸、市通知申渡す。云々

昭和二十一年一月五日

三浦海軍模範園長

下里村長殿

本人履歴

昭和十七年九月一日 大竹海軍国入団

昭和十一年一月二十日 特設掃海母艦 永興丸 第紀

昭和十一年一月二十日 永興丸 印公洋二 於下波没

八月廿 吳海島 二 送務 (於昭車島)

十月廿 吳田二 向フ (君川丸 便乘)

十月廿 便乘丸 君川丸 馬支海 沈二 於下沈没

君川丸 戰中 報告 通二 [redacted] 戰死

昭和十一年十月以降 永興丸 沈没 務理 班 吳艦 船沈 務理

班 [redacted] 沈没 (二 於下 [redacted] 戰死 報告 上 情

當時 永興丸 沈没 視 其 二 二 凡

務理 海島 棧 園 長 官 長 [redacted]

右 記 明 示

十三

408-10

死後有調書

本籍地

現任所

所屬部隊 第一〇三聯隊 輸送艦

入團年月 昭和十九年十月五日 役種 機關兵 經機關兵

官等 級 要務局長 氏名 入籍地 關西

内地港より上陸年月日 昭和十九年五月

戦死年月日 昭和十九年五月

機材兵員輸送

戦死時状況

本大田に在りしところ、敵機襲撃を受け、機材兵員輸送中、敵機に襲撃を受け、戦死した。

戦死後遺品

戦死後遺品

戦死後遺品

戦死後遺品

昭和十九年十月五日、第一〇三聯隊、輸送艦に搭乗し、本大田に在りしところ、敵機襲撃を受け、戦死した。

昭和二十一年十月十四日

本籍地

現住所

石全

所屬部隊

重三子輸送隊

官等級士重曹

氏名

[Redacted]

入籍番號

[Redacted]

備考

遺失三子輸送隊重三子輸送隊事務

(一)本調書ハ部隊長又ハ殘勢取扱者等ニ於テ吳地方復員局令子部

長宛通報シ非ハ上認ルモノニ付記載ス

(二)吳鎮在籍時勢上官在士官下士官兵ニ付記載ス

(三)同府縣人ハ勿論他府縣出身者ハ亦記載ス

(四)知得ル此範圍ニ外ニ生来籍地ハ詳細ニ記載ス

(五)他人ヨリ聞テ知ルモノハ亦記載ス

内通符號 吳市二河公園内

吳地方復員局令子部死没者係宛

東邊吳市在籍者宛中安者一名ナリ

姓名 何屋大郎

[Redacted]

此具ハ吳市物館子部令子部死没者係宛

死政者調書

本

現任

所屬部 第百貳拾五配給隊第十八番兵

入國年月日

昭和十七年一月一日

及任現

役 兵糧衛生兵

官

軍醫大尉

氏名

西地 鴻雪

昭和十七年一月一日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

現任

昭和十七年一月十七日

附方 太乙 四 八

右全

白鹿洞學堂
第十八日東凡

海華上齊天會

天
在

此册之卷一

端考

一本職司以爲隊長又司訓收服者并吳地方德貞的人事却故之通第百一十八

香江子於下知得下以多之恨
 江何記哉丁

行耕時體之宜。下土以良。於此訂記。我乃

輪他府出男者以就之就幾可

一、知、見、聞、思、修、慧、六度、三十七、菩提、心、發、願、行、持、三、摩、訶、衍、經、卷、之、一、

[illegible]

六通
恒山王侯福
關地方世祚寧蕃漢

245

10

1998

25870

42766

死没者調書

本籍
現住
所

所屬部隊

大秋田丸

入團年月

昭和六年三月

役種

兵

林

官等

曹

氏名

[Redacted]

籍貫

[Redacted]

戦没年月日

不明
台湾高尾山突撃戦中
昭和九年七月

勤務概要

輸送部隊隊長

奉命要領年月日

病死(要領部隊)

終焉(要領)年月日

戦死年月日

戦死年月日

右申告人

486

李紫地

理在斯

所歷

...

卷之五

本調署部務處又任殘務收報者等三於戶吳地方復員局人事部

是死通報シ非ズト認ルモノニ付訖載ス

吳鎮在籍特務士官准士官下士官共三付記載及

同符異人、勿論他對縣安身者、就于其記載、

知得_二此範圍_三於_レ中求得_レ限_レ詳細_二記載_三

他より聞きて承知したる事項は各當該欄に相子方に記載ス

送詩先

陳

吳地產糧局人事部長宛

現認證明書

本籍

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]年[REDACTED]月[REDACTED]日生

右の者は昭和拾七年四月比律賓群島セブ島において海軍本部
[REDACTED]部隊の兵員として徴用され其の後[REDACTED]部隊の
転戦と同時に碇泊司令部[REDACTED]部隊に編入され
昭和拾九年拾月頃セブ島よりシニ島へ糧秣輸送中
米軍の空襲に遭ひシニ島オルモックに上陸敵と
交戦中戦死す。

右相違なきことを現認す

大正五年十一月十四日

現認者

[REDACTED]

[REDACTED]

現認者

[REDACTED]

[REDACTED]